

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
 5. 横須賀市政記者クラブ
- 令和6年11月20日同時配布



令和6年11月20日
国土技術政策総合研究所

令和6年度国総研講演会を開催します —地震災害への国総研のチャレンジ— ～阪神・淡路大震災30年、能登半島地震から見た課題～

12月12日（木）に国総研講演会、「地震災害への国総研のチャレンジ ～阪神・淡路大震災30年、能登半島地震から見た課題～」を開催します。

本講演では、「令和6年能登半島地震」におけるインフラ分野、住まい・まち分野の支援状況や今回の被害を踏まえた技術的課題と技術基準に関する最新の検討状況について議論します。また、水道行政の国土交通省への移管に伴って推進している上下水道一体となった令和6年能登半島地震の復旧・復興とそれを支える研究活動について紹介します。

特別講演では、平田直 東京大学名誉教授に「南海トラフ地震」や「首都直下地震」等、今後発生が懸念される巨大地震への備えについてご講演いただきます。

1. 日時 : 令和6年12月12日（木）10:00～17:15（開場9:30）
2. 場所 : 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階）

※ライブ配信も併せたハイブリッド開催です。

3. プログラム : 詳細は別添資料、「国総研」のホームページ参照

一般講 演 : 「上下水道行政の一体化と能登半島地震での復旧・復興支援」

パネルディスカッションⅠ : 「住まい・まちの地震災害対策の取組」

特別講 演 : 「能登半島地震、日向灘地震を経験して首都圏で備えるべきこと」

パネルディスカッションⅡ : 「インフラ分野の能登半島地震での知見を踏まえた今後の対応」

会場来場者向け企画

ポスター発表 : 災害対応やDXに関する取組についてのポスター発表を行います。

コーヒブレイク交流会 : 各セッション終了後に登壇者との意見交換を行います。

4. 参加申込み : 定員1,450名（内会場450名、ライブ配信1,000名）

12月9日（月）までに、ホームページからお申込みください。

<https://www.nilim.go.jp/lab/bbg/koen2024.html>

※本講演会は土木学会認定CPDプログラムです。

CPD単位数 現地聴講 : 6.0 オンライン聴講 : 5.2

○報道機関の皆様へ : 取材を希望される場合は、問い合わせ先にご連絡ください。

【問い合わせ先】

国土技術政策総合研究所

企画部 企画課 主任研究官 長屋、企画係 仲嶋

TEL : 029-864-2674 E-Mail : nil-kouenkai@gxb.mlit.go.jp

令和6年度国総研講演会 地震災害への国総研のチャレンジ

— 阪神・淡路大震災30年、能登半島地震から見た課題 —

「令和6年能登半島地震」におけるインフラ分野、住まい・まち分野の支援状況や今回の被害を踏まえた技術的課題と技術基準に関する最新の検討状況について議論します。併せて、発生から30年を迎える「平成7年兵庫県南部地震」などの大規模地震での経験に基づき進めてきた地震対策の技術政策を支える研究開発のレビューを行います。

また、水道行政の国土交通省への移管に伴って推進している上下水道一体となった令和6年能登半島地震の復旧・復興とそれを支える研究活動について紹介します。

特別講演では、平田直 東京大学名誉教授に「南海トラフ地震」や「首都直下地震」等、今後発生が懸念される巨大地震への備えについてご講演いただきます。

日時

令和6年 **12月12日** 木
10:00 – 17:15 [開場9:30]

参加
無料

事前
申込制

会場

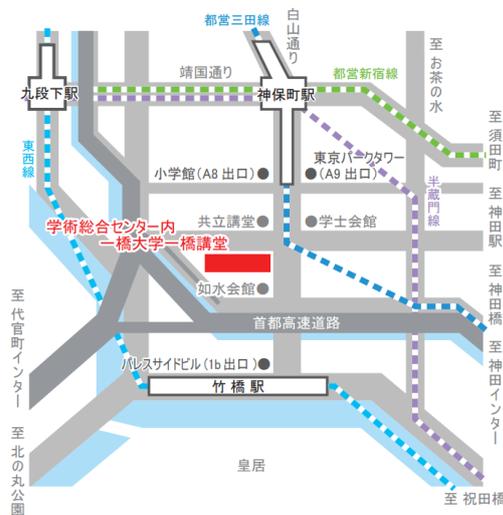
一橋講堂
[東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター 2階]
ライブ配信あり

申込
詳細

下記二次元バーコードよりご覧ください
申込期限 — 令和6年 12月9日



※定員は会場450名、ライブ配信1,000名です。
定員に達し次第、受付終了とさせていただきます。
※本講演会は土木学会認定CPDプログラムの予定です。
予定CPD単位 現地聴講：6.2 オンライン聴講：5.4



お問い合わせ



国土交通省
国土技術政策総合研究所
National Institute for Land and Infrastructure Management

企画部企画課

TEL : 029-864-2674

Email : nil-kouenkai@gxb.mlit.go.jp

10:00-10:05 | **開会の挨拶** 所長 福田 敬大

10:05-10:20 | **事業概要** 企画部長 吉田 敏晴

10:20-11:50 | **第1部 一般講演**

上下水道行政の一体化と 能登半島地震での復旧・復興支援

令和6年能登半島地震では、同年4月からの上下水道行政一体化を踏まえて、地震からの復旧・復興を支援しました。同年4月からの能登上下水道復興支援室の活動を含め、これまでの対応と課題、今後の対策等をご報告します。

登壇者



上下水道研究部長
三宮 武



能登上下水道復興支援室長
山上 訓広

13:00-14:15 | **第2部 パネルディスカッション I**

住まい・まちの地震災害対策の取組

阪神・淡路大震災をはじめとしたこれまでの地震災害を踏まえて、耐震基準の見直しをはじめ、住まい・まちづくり分野の地震災害対策が強化されてきました。その中での能登半島地震の被害状況を踏まえ、課題や教訓、今後の研究の方向性等について議論します。

コーディネーター



副所長
山下 英和

パネリスト



建築研究部長
長谷川 洋



住宅研究部長
藤本 秀一



都市研究部長
勝又 済

14:30-15:30 | **特別講演**



能登半島地震、日向灘地震を経験して 首都圏で備えるべきこと

平田 直 氏 一般社団法人防災普及協会 会長
東京大学名誉教授 理学博士

2024年は1月1日に能登半島でマグニチュード(M)7.6の大地震が発生し、多くの被害がもたらされ、8月8日は日向灘でM7.1の地震が発生し、宮崎県で被害が出ただけでなく、南海トラフで大地震の発生する可能性が高まることを知らせる南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が気象庁から発表されました。日本ではどこでも大きな揺れを伴う地震が、突然発生する可能性があります。どのように地震災害に備えるかを議論します。

<平田 直 氏 プロフィール>

- 政府の地震調査委員会委員長
- 気象庁 地震防災対策強化地域判定会会長
- 南海トラフ地震に関する評価検討会会長
- 内閣府 中央防災会議専門委員など、国の地震防災行政でも要職を歴任
- 平成27年度 防災功労者防災担当大臣表彰 受賞
- 平成29年度 防災功労者内閣総理大臣表彰 受賞
- 「地震を知って 震災に備える」(亜紀書房：2024年8月)
- 「首都直下地震」(岩波書店)ほか著書多数。

15:45-17:10 | **第3部 パネルディスカッション II**

インフラ分野の能登半島地震での 知見を踏まえた今後の対応

能登半島地震では、幅広い分野で国総研の専門家が被害調査や復旧支援を実施しました。これまでの地震防災対策を振り返り、能登半島地震で得られた知見を踏まえ、今後の技術政策の方向性について議論します。

コーディネーター



研究総務官
宮武 晃司



河川研究部長
川崎 将生



土砂災害研究部長
田村 毅



道路構造物研究部長
星隈 順一



管理調整部長
酒井 浩二



空港新技術研究官
坪川 将丈

17:10-17:15 | **閉会の挨拶** 副所長 宮島 正悟

会場来場者向け企画

■ポスター発表

国総研の災害対応やDXに関する取組についてのポスター発表を会場ロビーで行います。

■コーヒブレイク交流会

各セッション終了後にロビーにて登壇者との意見交換を行います。